

令和7年度 第3学年「特別活動」の目標と評価規準

担当：立入 僚之

単元名	時数	目標	評価規準
組織作り	3	学級生活の充実や向上のために、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力したり実践したりすることができる。	生徒が、自己の役割に対する責任を自覚し、よりよい集団にするよう工夫して仕事を進め、実践している。
行事への取り組み	6	学校行事を通して、多様な集団活動や学校生活全体の向上について考えたり、学級の提案や取り組みを話し合っ決めてたりすることができる。	学級内での小集団、学校行事で組織される集団など任意の集団の中で、望ましい人間関係の構築について考え、実践している。
学級びらき・まとめ	4	自己紹介やまとめなどを通して、自他の個性を理解し尊重するとともに、互いの良さや可能性を認め、よりよい集団をつくることができる。	自分の個性を見つめるとともに、他者の個性を理解し、互いに尊重しながら豊かな人間関係を育もうとしている。
学習計画・まとめ	4	現在および将来の学習と自己実現のつながりを考えたり、自主的に学習する意義を意識して学習の見通しを立てたり振り返ったりすることができる。	学ぶことの意義を見出そうとしている。自分にふさわしい学習方法について、解決策を模索し、実践している。
生活	4	社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なルールやマナーを考え、行動することができる。	それぞれの場面でのルールやモラルの意義について考え、社会生活を営む上で必要なマナーについて主体的に身につけようとしている。
進路	10	目標を持って、生き方や進路に関する情報を収集・整理し、自身の進路を決定することができる。	自分の将来に夢や希望を持ち、それを実現するために進路計画を考え、自らの意志で生き方を選択しようとしている。
儀式における自分の役割について	4	社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なルールやマナーを考え、行動することができる。	集団の規律や社会のルールに従い、互いに協力しながらそれぞれの責任を果たせるよう考え、実践している。